

名古屋能楽堂 五月定例公演

生誕百年 三島由紀夫 「能楽」という底流をめぐって

生れてはじめて見た能楽が、天の岩戸の神遊びであつたといふことは、私が日本の芸能の神の殊遇を受けてゐた証拠とも云へさうである 『私の遍歴時代』*1
三島由紀夫は、中学三年生のころに歌舞伎と能に出会ひ、劇場通いをはじめた。「その二つともに私は直ちに魅了され」「少年の感受性に『言葉の優雅』といふものを強く刻印したのは、劇場と俳優の力であつたと思ふ」と語る。*2
はじめて目にした演目は『三輪』。語り舞う演者によって神話の世界が現出した舞台は、まさしく岩戸が開いたような感銘を、彼に与えたことであらう。

狂言『咲嘩』では、会ったことのない、主人の伯父を尋ねて太郎冠者は都を探しまわる。彼は求める相手と無事に出会えるのか。主人の望むように持て成せるのか。

三島が書いた歌舞伎『翫恋曳網』(一九五四)は「めぐり逢ひ」掛け声の面白さが印象的な作品だが、この特色を狂言演目の中に求めてみた。趣向が似ても、まったく異なる作劇をお楽しみいただきたい。

*1 決定版三島由紀夫全集32(2003年、新潮社、306P)
*2 日本の古典と私(同34)2003年、新潮社、620P



能「三輪」
撮影：工房 円

狂言

「咲嘩」(和泉流)
シテ 佐藤 友彦

能

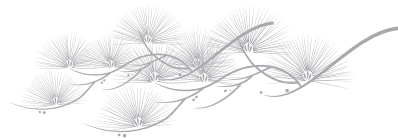
「三輪」(観世流)
シテ 吉沢 旭

令和7年

5月17日(土) 14:00開演 (13:00開場)

指定席 4,200円
自由席(一般) 3,200円
自由席(学生) 2,000円

3月12日(水)より
前売券発売



番組

◇開演前ショート解説…午後一時四十五分から午後二時
『三輪』について 久田 三津子

狂言 咲嘩（和泉流）

シテ 太郎冠者 佐藤 友彦
アド 主人 鹿島 俊裕
アド 咲嘩 今枝 郁雄

後見 井上松次郎

休憩十五分

能 三輪（観世流）

前シテ 里女 吉沢 旭
後シテ 三輪明神 飯富 雅介
ワキ 玄寶僧都 井上松次郎
アイ 里人

笛 山村 友子
小鼓 後藤嘉津幸
大鼓 河村眞之介
太鼓 加藤 洋輝

後見 瀬戸 洋子
久田三津子

地謡 山脇由美子 武田 祥照
村井 邦子 上田 公威
田口 亮二 松山 幸親

（午後四時二十分頃終了予定）

【イヤホン・ガイド】

◆能「三輪」
日本語／米田 真理（朝日大学経営学部教授）
英語／川崎 瑠子（能楽イヤホンガイド名古屋）

●都合により出演者が変更となる場合がございます。
あらかじめご了承ください。

◇狂言解説「咲嘩」（さつか）

近年流行る連歌の当番にあたった主人は、その宗匠（指導役）を仲間内で頼むには気が進まず都に住む伯父に務めてもらおうと考え、家来の太郎冠者を遣いに出します。伯父を知らない家来が都で方々と尋ね探していると、「自分がその伯父だ」と名乗り出た素つ破（詐欺師）が近づき、家来は信用して連れて帰ることに…。

名の知れた大悪党を題材とした本曲。前半部は狂言『末廣かり』のような、また後半部は狂言『口真似』のように展開する類曲です。《見乏いの咲嘩》と呼ばれ、当家和泉流山脇派の六儀（台本）に於いて「常の盗人とは違い、目に付いた獲物を請うても取るほどの盗みの上手。」と表現し、「咲嘩」はその異名だと説明しています。当家では「殺嘩」という表記も残り、また大蔵流では「察化」の表記で伝承されています。（井上松次郎）

◇能解説「三輪」（みわ）

古代から人々に信仰されてきた三輪山と大神神社（奈良県桜井市）を舞台にした神秘的な作品です。

【前場】大和国・三輪山の麓に庵を結ぶ玄寶僧都（ワキ）が登場し、毎日一人の女性が密と閑伽の水を届けに来ると述べます。今日も訪ねてきた里女（前シテ）は、秋の夜寒を過ごすため一重の衣を所望します。僧都が衣を与えて住所を尋ねると、女は「三輪の里、山もと近き所」と答え、「杉立てる門」を目印にお訪ね下さいと言い姿を消します。

【中入】里人（アイ）が三輪明神（大神神社）へ参詣すると、御神木の杉に衣が掛かっているので不思議に思い僧都に報告します。

【後場】僧都が庵を出て訪ねてみると、女に与えた衣が二本の杉の木に掛かっています。そこへ三輪明神（後シテ）が烏帽子狩衣を着た女の姿で現れ、三輪山に伝わる神婚説話「大和国に住む夫婦がいた。夫は夜ごと妻のもとに通って来るが昼は姿を見せない。妻が夫の着物に糸を付けて跡をたどると杉の下枝で糸が止まっていた」という伝説を語ります。さらに天照大神の岩戸隠れの話を描く神楽を舞い、伊勢神宮が祀る天照大神と三輪明神は「一体分神」（本来は一体だが仮に身を分けて現れている）と説いたところで夜が明け、僧都は夢から覚めます。

大神神社は三輪山を御神体とする日本最古の神社として知られています。昭和四十一年、三島由紀夫は「奔馬」取材の為参詣しています。（吉沢 旭）

五月定例公演事前学習講座

4月26日（土） 14:00～15:30

受講チケット 500円

◆能「三輪」のあらすじ、見どころを解説します。詳細は事前学習講座チラシをご覧ください。

※事前学習講座のチケットは、名古屋市文化振興事業団の管理する文化施設窓口にて取り扱いをしております。

チケット料金（税込み） *前売券発売日 令和7年3月12日（水）

	指 定 Reserved	自 由 Non reserved	
		一 般 Adult	大学生（25歳）以下 Student 25 and under
前 売 Advance sale	4,200円	3,200円	2,000円

* 学生券は25歳以下を対象とします。* 未就学児のご入場はお断りいたします。

* チケットは1回につき4枚までの販売とさせていただきます。

* 事業団友の会会員・障がい者手帳等をお持ちの方（付添者1名含む）は400円引きです。（学生券の割引はありません。）

（名古屋能楽堂・事業団チケットガイド・事業団施設窓口のみ、各割引の併用はできません。）

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂／TEL.052-231-0088

* 前売券発売日当日は、お電話がつながりにくいことがあります。

名古屋市文化振興事業団チケットガイド／TEL.052-249-9387

（平日9:00～17:00／チケット郵送可）

名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口＜土日祝日も営業＞でもお求めいただけます。

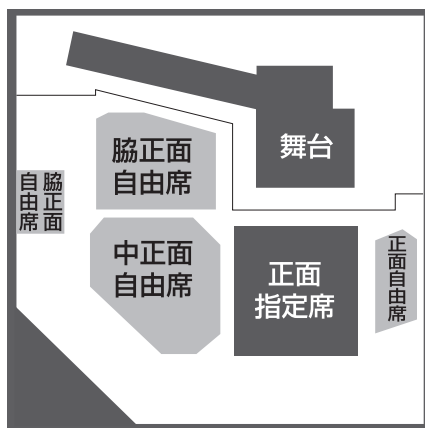
（工事休館などがありますので、ホームページでご確認ください。）

チケットぴあ／Pコード532-370

* 外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも割引します。（名古屋能楽堂取扱いのみ）

Discount is available by showing passport or other proof of foreign nationality. (at Nagoya Noh Theater only)

お問い合わせ／名古屋能楽堂 TEL 052-231-0088 FAX 052-231-8756



〒460-0001 名古屋市中区三の丸一丁目1番1号

公演についての最新の情報は
名古屋能楽堂ホームページを
ご覧ください。



<https://www.bunka758.or.jp/facility/nougakudo/>